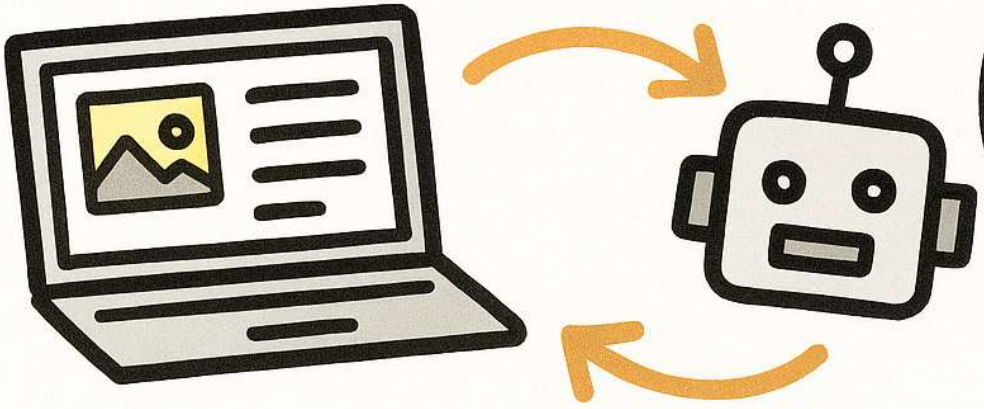
生成AIとは何か

神奈川県 横須賀市

経営企画部 デジタル・ガバメント推進室



室長
太田 耕平

自己紹介



化学メーカー勤務後横須賀市役所に転職
都市部、市民部、財政部を経て

2019年に市役所内のシンクタンク組織である
都市政策研究所（現：都市戦略課）に異動
・横須賀市基本構想・基本計画（YOKOSUKAビジョン2030）
・実施計画策定を担当

2022年よりスマートシティ事業の立ち上げを担当
・ヘルスケアデータ連携・分析システムの構築
・市役所内、一部学校等でのデジタル人材の強化
・横須賀市スマートシティ推進方針の策定

2023年4月、デジタル・ガバメント推進室に異動
・生成AI、スマートシティのチームリーダー

2024年4月より現職

Made with AI

横須賀市について

人口：369,264人
面積：100.80km²

令和７年６月１日　推計人口



神奈川県の東側
三浦半島に位置



東京湾と相模湾に面し
海に囲まれ
温暖な気候に恵まれている

魅力①　アメリカンな雰囲気

軍港めぐり



ネイビーバーガー



どぶ板通り



魅力②　歴史、文化、アート

横須賀美術館



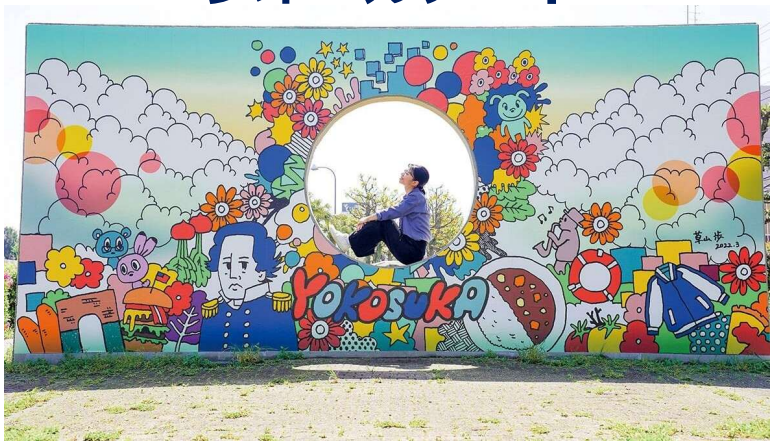
浦賀レンガドック



日本遺産



ウォールアート



BMXパーク



魅力③　自然、食

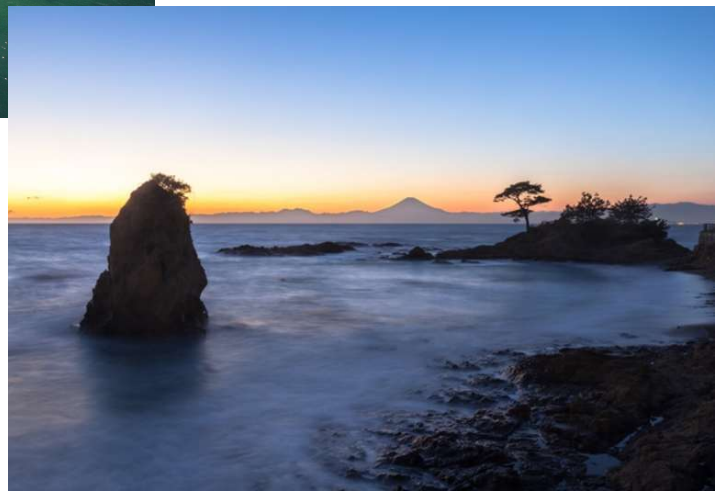
無人島 猿島





新鮮な食材

風光明媚な景色





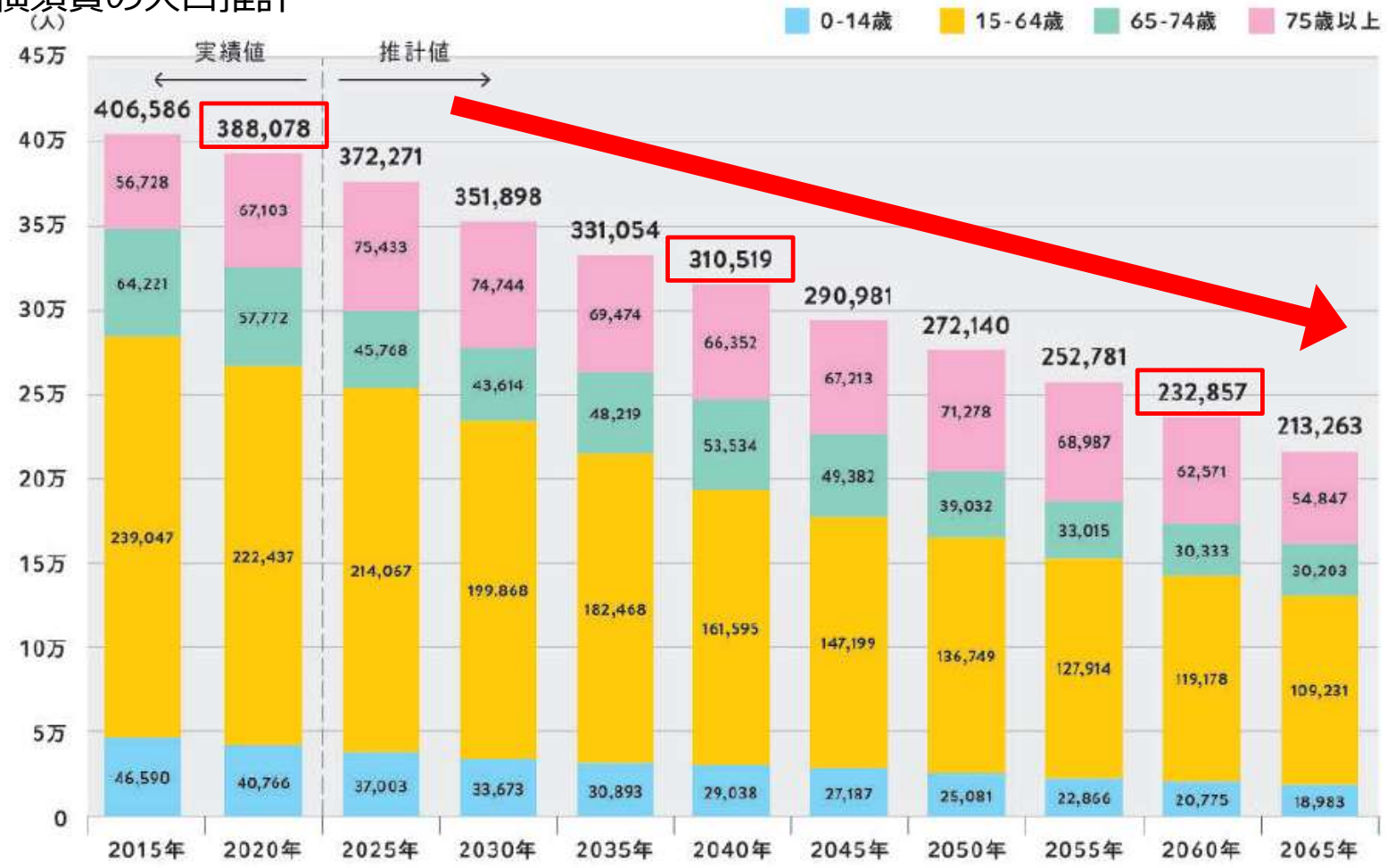
これらのワードを生成AIに読み込ませて生まれた動画



AI的にこんな感じのまちです

横須賀市の課題

横須賀の人口推計



人口は
今後も減少

資料：YOKOSUKAビジョン2030

これからの日本の行政に必要な視点

人口減少は、日本全体が直面している問題

・横須賀市　⇒　1990年以降　減少
・全国　　⇒　2010年以降　減少
・横浜市　　⇒　2020年以降　減少
・東京都　　⇒　2030年以降　減少

人口減少の対策も　もちろん大切だけど、、、
人口減少を前提として
「今住んでいる人を幸せにする」まちづくりが必要

※人口推計は、社人研推計を参照

人口が減る中でどうすればいいのか

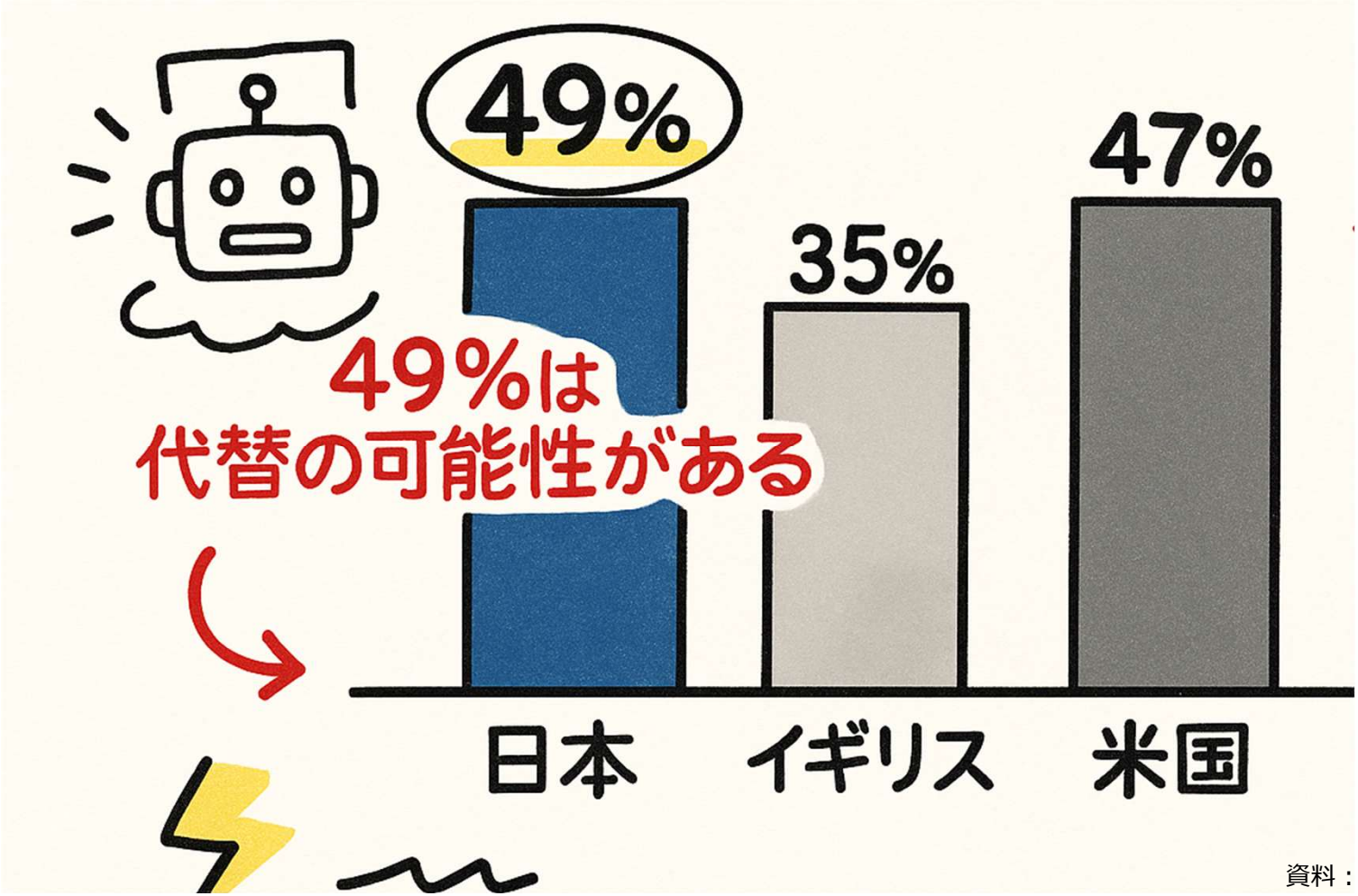
横須賀市、日本でも、
働く人が減っていく中、
支援を必要とする人は増えていく、、、

当然、市役所も、**職員数が減っても、**
行政サービスを維持していかなければならない

そのためには、テクノロジーの活用が不可欠になる

日本でのテクノロジーの活用状況

人工知能やロボット等による代替可能性が高い労働人口の割合



日本では、まだ
テクノロジーが活用
しきれていない
数ではなく
質で勝負の時代

資料：総務省　自治体戦略2040構想研究会をもとに作成

人口減少

少子高齢化

テクノロジーの進歩

価値観、生活様式など

これらの**変化**は、

今後のまちづくりの前提

YOKOSUKAビジョン2030

変化が激しい社会ではビジョンが重要

2022年

「横須賀市基本構想・基本計画」策定

市民も参加し、アンケートを含むと

1万以上を超える意見を頂き、策定

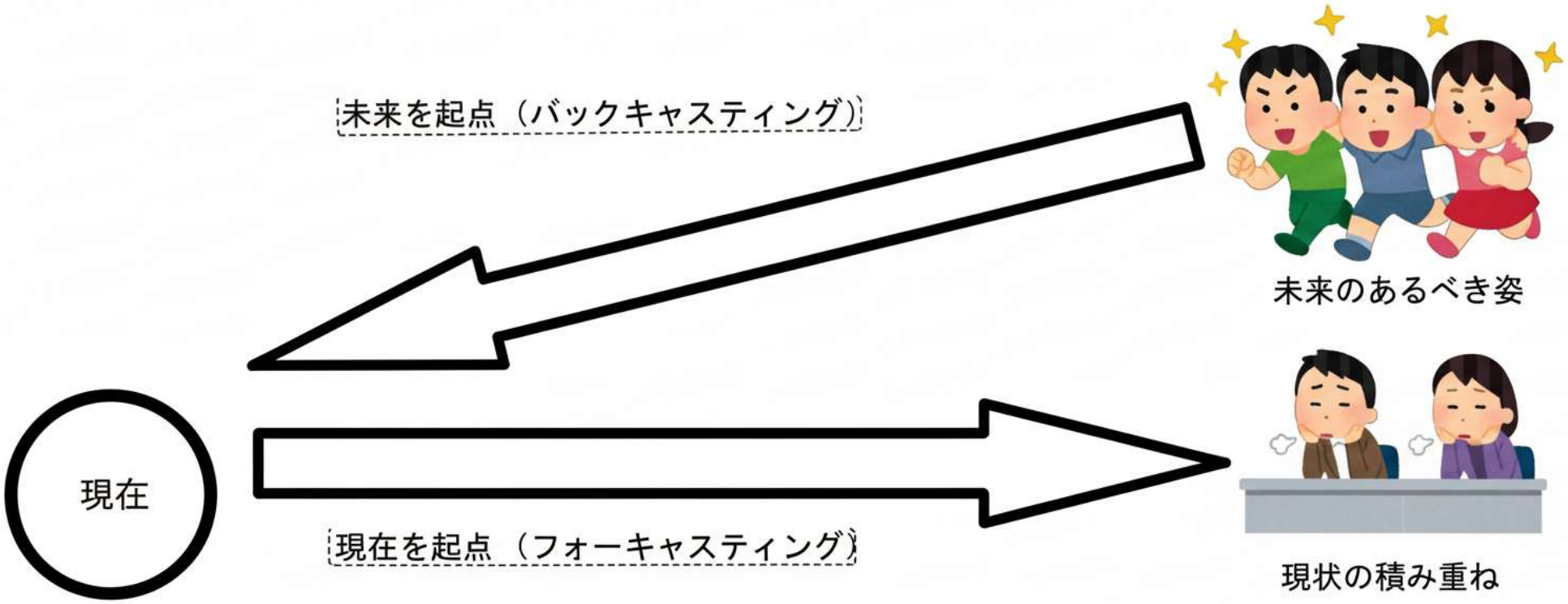
市民、市役所、議会、事業者が

共通して見据える未来



どうやって策定したの？

未来を起点とする「バックキャスティング」で作成



横須賀市の未来像

変化を力に進むまち。
横須賀市

「変化を悲観せず、受け入れて、立ち向かおう」

という明確なメッセージを示す。

新たなテクノロジーの活用の方向性についても明記。

本日お話すること

1　生成AIの概要
2　役所内での利用実態と利用者の傾向
3　役所内での普及方法
4　市民向けの活用事例
5　今後の見通し
6　まとめ

本日お話すること

1　生成AIの概要

2　役所内での利用実態と利用者の傾向

3　役所内での普及方法

4　市民向けの活用事例

5　今後の見通し

6　まとめ

生成AIとは何か

AIとは

- 人工知能（Artificial Intelligence）の総称で、人間の知的能力を模倣し、コンピュータで再現することを目指す技術全般を指します。例えば、画像認識、音声認識、自然言語処理、ゲームAI、ロボット制御など、様々な分野があります。

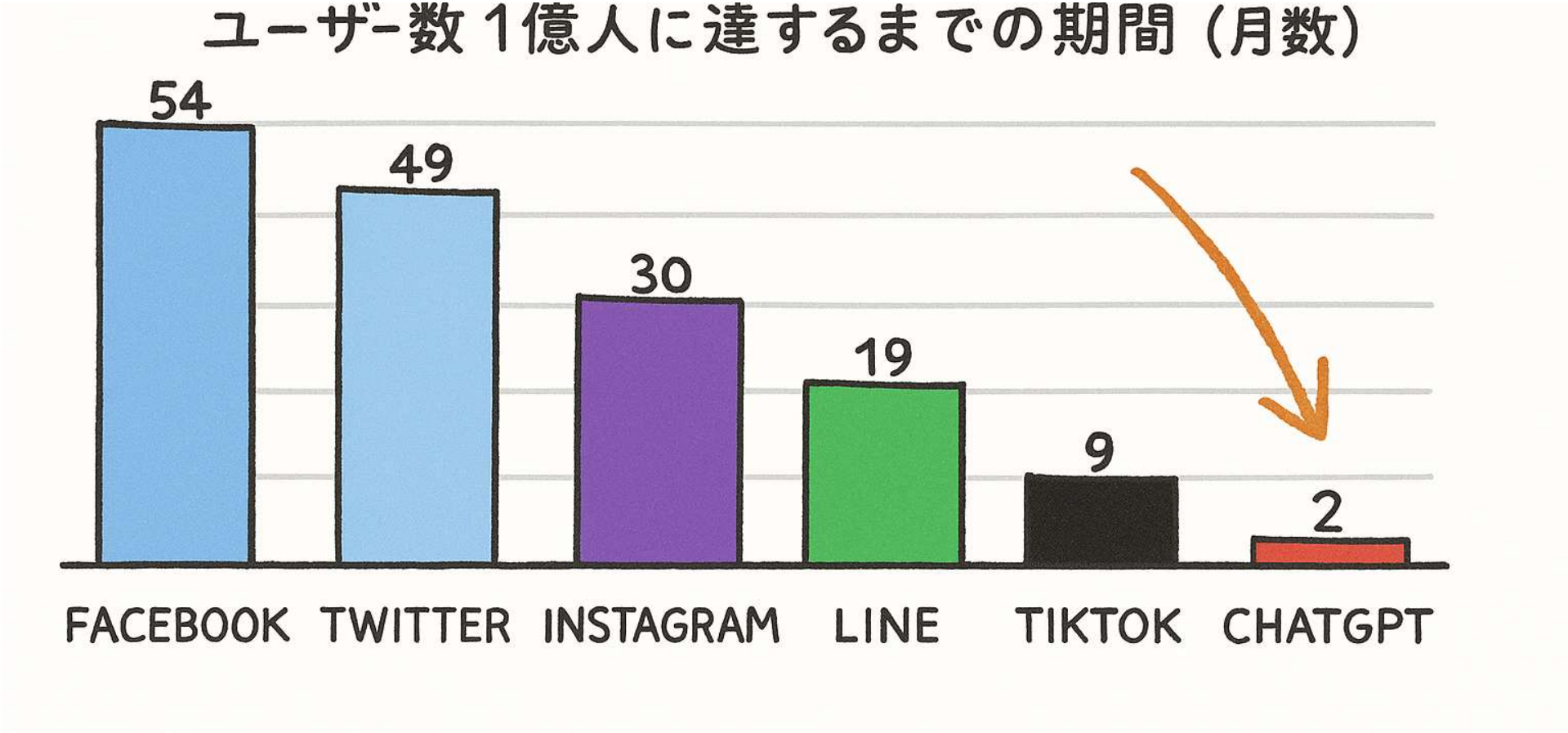
生成AIとは

- AIの一種で、ユーザーの指示やデータに基づいて、新しいコンテンツ（文章、画像、音声、動画など）を作り出すことに特化したものです。

※ChatGPT、Claude、Geminiからの回答をもとに作成

生成AIの世の中への浸透スピード

2022年11月30日に公開されてから、２か月間でユーザー数１億人に到達



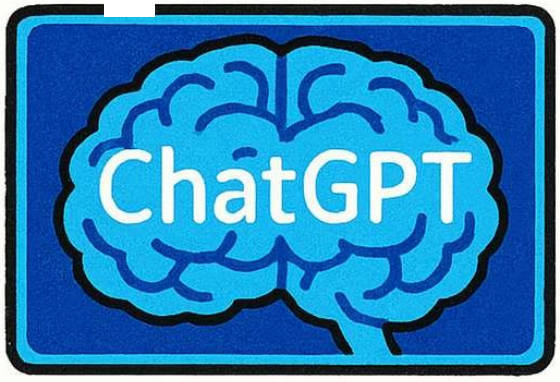
ChatGPTの仕組み

インターネット上の
膨大な言語データ
(2024年6月までの情報)
をもとに予測

1 次に来る
確率が最も高い
言葉を統計的に
予測

2 これにより、
文章作成・
要約、FAQの作成、
アイデアのブレスト、
誤字脱字のチェックなどが可能





※ChatGPTは、意味を理解しているわけではない

むかしむかし、
次の言葉はこれ！
あるところに、
次の言葉はこれ！
おじいさんとおばあさんが

生成AIをめぐる世界の動き

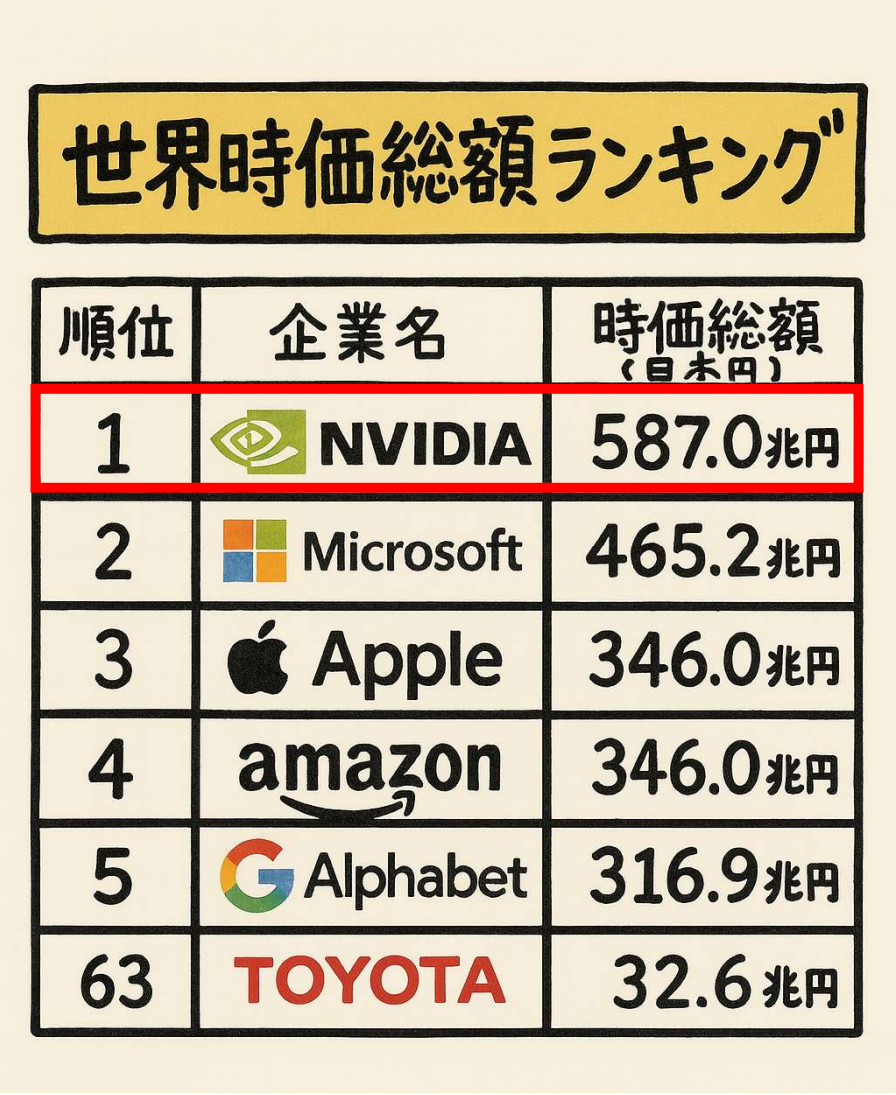
巨大企業の生成AIの開発競争が激化（生成AI開発の動きの一部）

G	**Google**	「Gemini」
A	**Amazon**	「Nova」
F	**Meta**	「Llama 」
A	**Apple**	「Apple intelligence」
M	**Microsoft**	「Copilot」

その他にも、xAI（Grok）、アドビ（firefly）などの米企業、
中国企業（DeepSeek）も参戦

今後、生成AIがITインフラの
中核を担う可能性は極めて高い

世界時価総額ランキング（7/10現在）



2020年4月時点では、
19.1兆円

With AIの時代は
間違いなくやってくる！

生成ＡＩの技術を下支えする
「エヌビディア」の時価総額が**世界1位**

実際に生成AIを触ってみます
（事例紹介なので、市役所で活用していないものも含まれます）

- レポート資料の作成（chatGPT）
- レポート資料をもとにプレゼン資料を作成（Gamma）
- 作成したレポート資料の内容をラジオ風に解説（Notebook LM）
- フェイク動画の作成（sora2）
- 「愛知県市長会副市長セミナー」のテーマソングの生成（SUNO）

レポート資料作成：（chatGPT：Deep Reserch）

【プロンプト】

・愛知県下の市が今後より発展していくための、行政としての施策を、類似の性質を持つ、海外の自治体の事例を参考に、詳細なレポートを作成してください。

発展の定義は「全体的な発展」で、施策の視点は中長期です。

※出力結果は、別添のとおり

プレゼン資料作成：（Gamma）

【プロンプト】

・この出力資料をもとにプレゼン資料を作成して。10ページで。

音声解説の生成（Notebook LM ）

【プロンプト】

・この出力資料を音声解説して

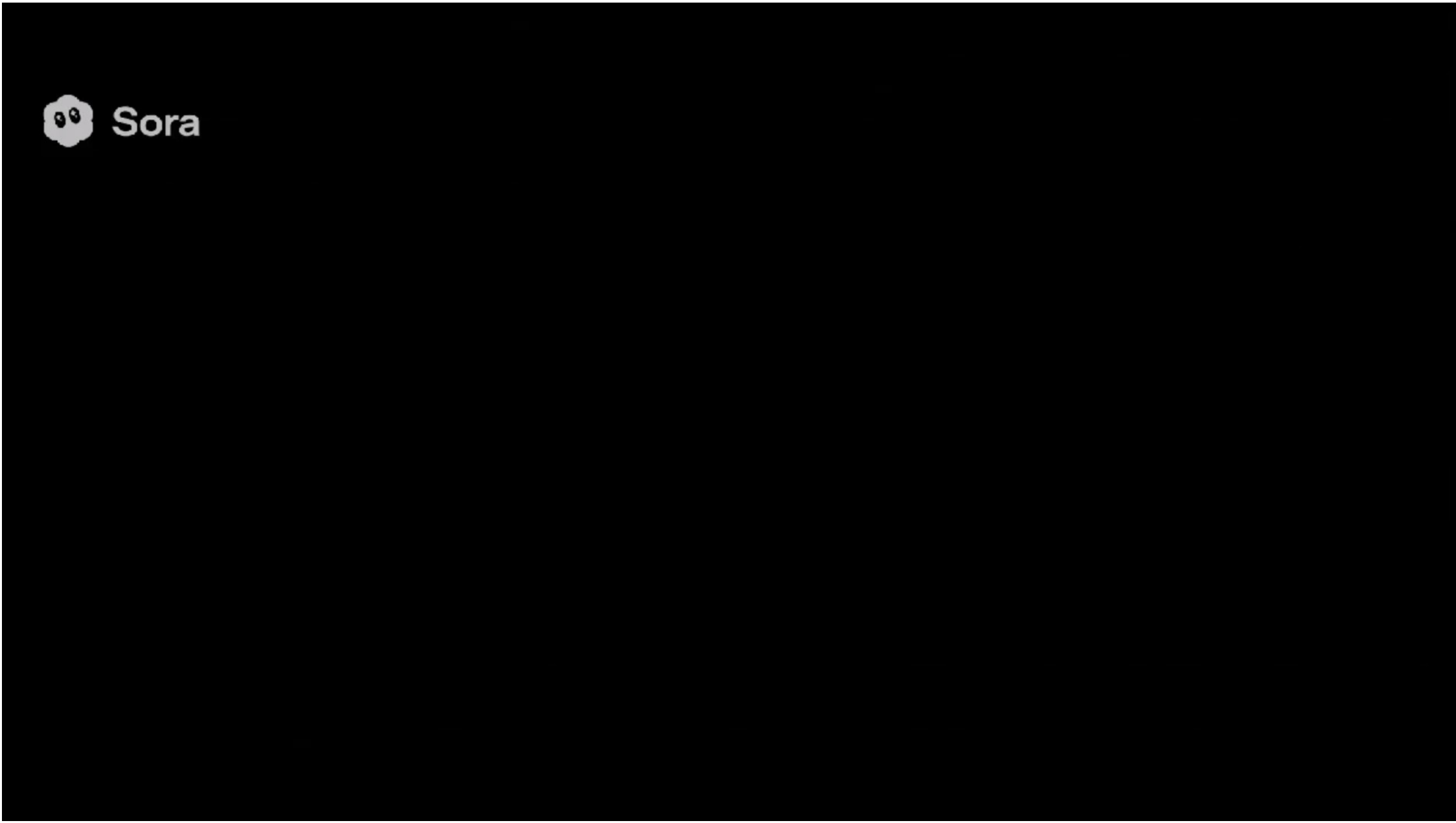
フェイク動画の生成（sora2 ）

【プロンプト】

・横須賀市が勝手に横須賀国として独立したことを伝えるニュースを作って。

・横須賀市が横須賀国として独立した事を伝えるニュースの現地レポート。レポーターは、「横須賀市は独立いたしました！しかし、市民は落ち着いた様子でネイビーバーガーをたべています！驚きです！さすが横須賀市！」とレポート。後ろに映っている市民はハンバーガーを食べながら動き回っている。


横須賀国
きょう独立
NHK
横須賀市が日本から独立


Sora

音楽の生成（chatGPT ＋SUNO）

【プロンプト】

「愛知県市長会副市長セミナー」の歌を作って。歌詞には、愛知県下の以下に示す市の特色を余すことなく入れて。参加者は、以下の市の副市長です。

岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、みよし市、あま市、長久手市

本日お話すること

1　生成AIの概要

2　役所内での利用実態と利用者の傾向

3　役所内での普及方法

4　市民向けの活用事例

5　生成AIの今後の見通し

6　まとめ

横須賀市の生成AI（ChatGPT）導入の経緯

令和5年3月29日

【市長から】
ChatGPTを使って何か検討できないか

【デジタル・ガバメント推進室】
この技術の安全性を確認した上で使いたい。



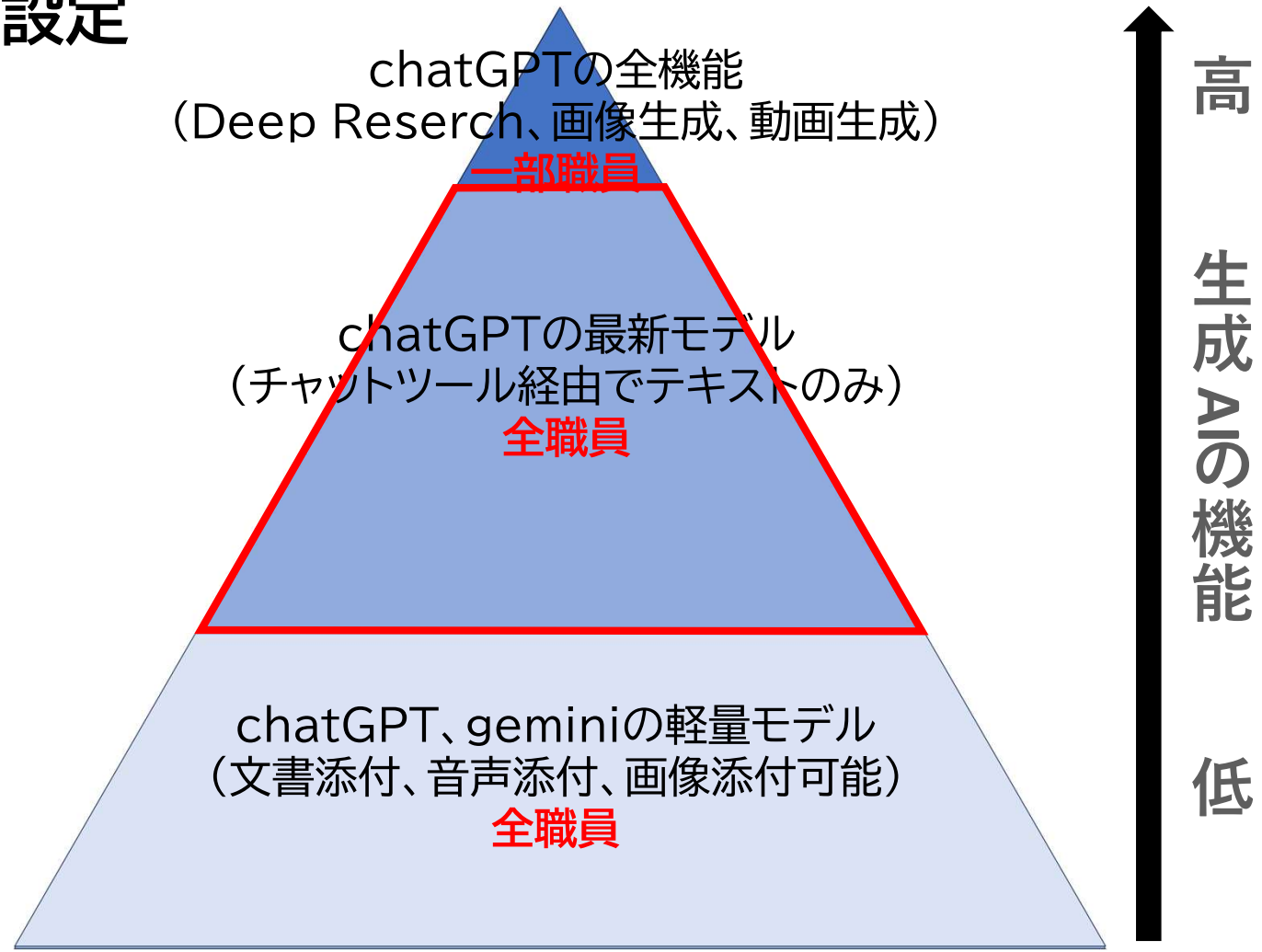
一気に事業化が加速。

令和５年４月20日にチャットツール経由で全職員利用開始

※全庁での利用は自治体初
※現在は全職員のブラウザ上での利用と、必要課にはchatGPTTEAMのアカウント付与も実施

現在の横須賀市職員の生成AIの利用環境

◎3段階で利用環境を設定



報道発表後の反応（マスメディア）

【TV】

NHK、民放キー局全局（５局）で放送

報道ステーション、ワールドビジネスサテライト、首都圏ネットワーク、zip、めざましテレビ、Every.などなど

CNN、BBC、中国フェニックステレビ、
台湾のテレビ局等、海外からも取材

【新聞】

新聞も全国紙５紙をはじめ多数の地方紙

Open AI社のホームページにも横須賀の事例が掲載

【原文】
ChatGPT also helps accelerate the efforts of local governments, such as Yokosuka City, which is leveraging the technology to improve the efficiency of public services in Japan. Over the past year, the city has gradually provided ChatGPT access to almost all city employees, and 80% have reported increases in productivity. Now Yokosuka City has formed a network with 21 local governments—including the Tokyo Metropolitan Government and the City of Kobe—to share best practices of ChatGPT use in government.

【日本語訳】
ChatGPTは、横須賀市などの地方自治体に活用され、地域の公共サービスの生産性向上に貢献しています。横須賀市によると、過去1年間、全市職員のほとんどにChatGPTのアクセスを段階的に提供し、80%が生産性の向上を報告されています。現在、横須賀市は東京都や神戸市を含む21の地方自治体とネットワークを形成し、行政におけるChatGPT使用に関するベストプラクティスを共有しています。

open AI社ホームページより転載
https://openai.com/index/introducing-openai-japan

導入後の反応（市民・企業）

（市民）

・「生まれ育ち、愛している横須賀市が先頭に
　立って行動を起こしているということに、
　嬉しさを感じた」といった応援メッセージが！

・一方、なぜか市外の人？からは、批判の声も、、、

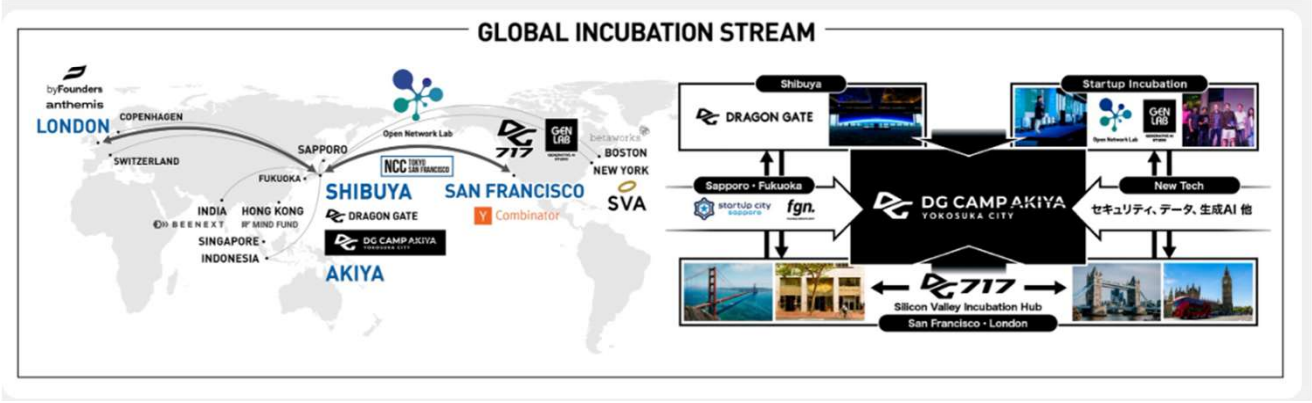
（企業）

報道により、横須賀市の取り組みが拡散され、ChatGPTの活用について協力の申し出、共同開発の依頼多数。研究施設の設置。

企業の反応

横須賀市のAI活用の動きをきっかけの一つとして、民間企業が、横須賀にベンチャーの育成施設を開設。

（デジタルガレージ社）



DG CAMP AKIYA
YOKOSUKA CITY









早期に導入できた理由

- 市長を含めた、経営層の意気込み＆デジガバ室職員のやる気。（だって世界同時スタートの技術って、面白そうじゃない？）
- 技術に明るい人材がいた。（ ChatGPTを既存のビジネスチャットとAPI連携できる職員がいた）
- 「ICT利活用費」という、DX推進のための、一定の自由度のある予算が認められていた。
- 法人カードを作った。（SaaS型サービスを直接支払える）

ChatGPT導入の理由

だって、

大規模言語モデルは文章を扱うことができるAIですから！

- 横須賀市の1年間の公文書の数：9万件＋α
  - 文書の作成に多大な時間と労力
  - 文書＝情報の記録、伝達
    →内外問わず、分かりやすい文書にすることが求められる

「自治体業務において、ChatGPTを活用できる可能性は高い」

ChatGPTの「全職員」への導入の目的

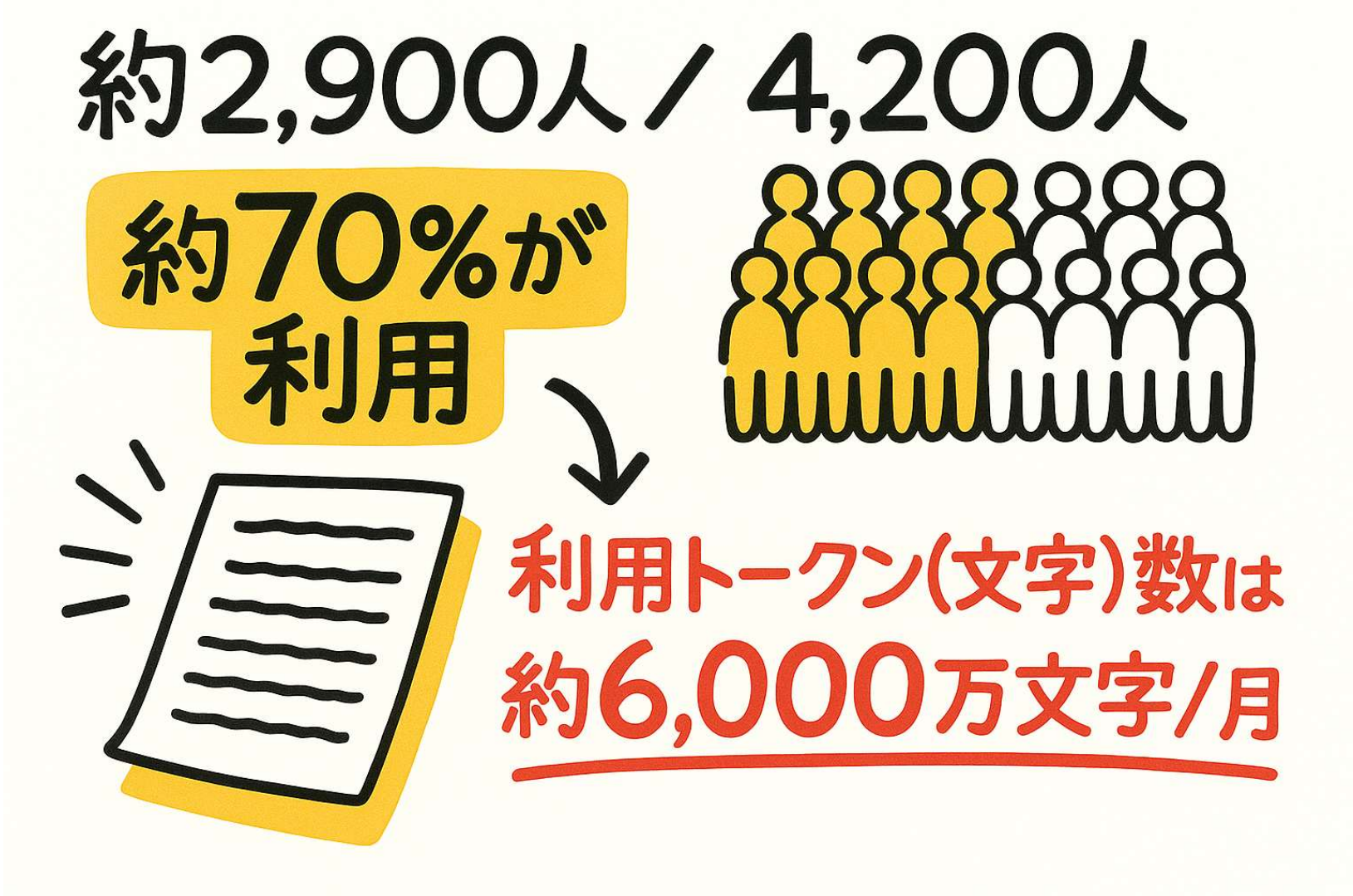
✓ 職員が新たなテクノロジーに触れることによる、
意識の改革。まずは触ってみよう。

✓ 文書作成業務等の効率化

✓ 職員から利用方法を収集し、ベストプラクティスを横展開したい

✓ シャドーITの防止

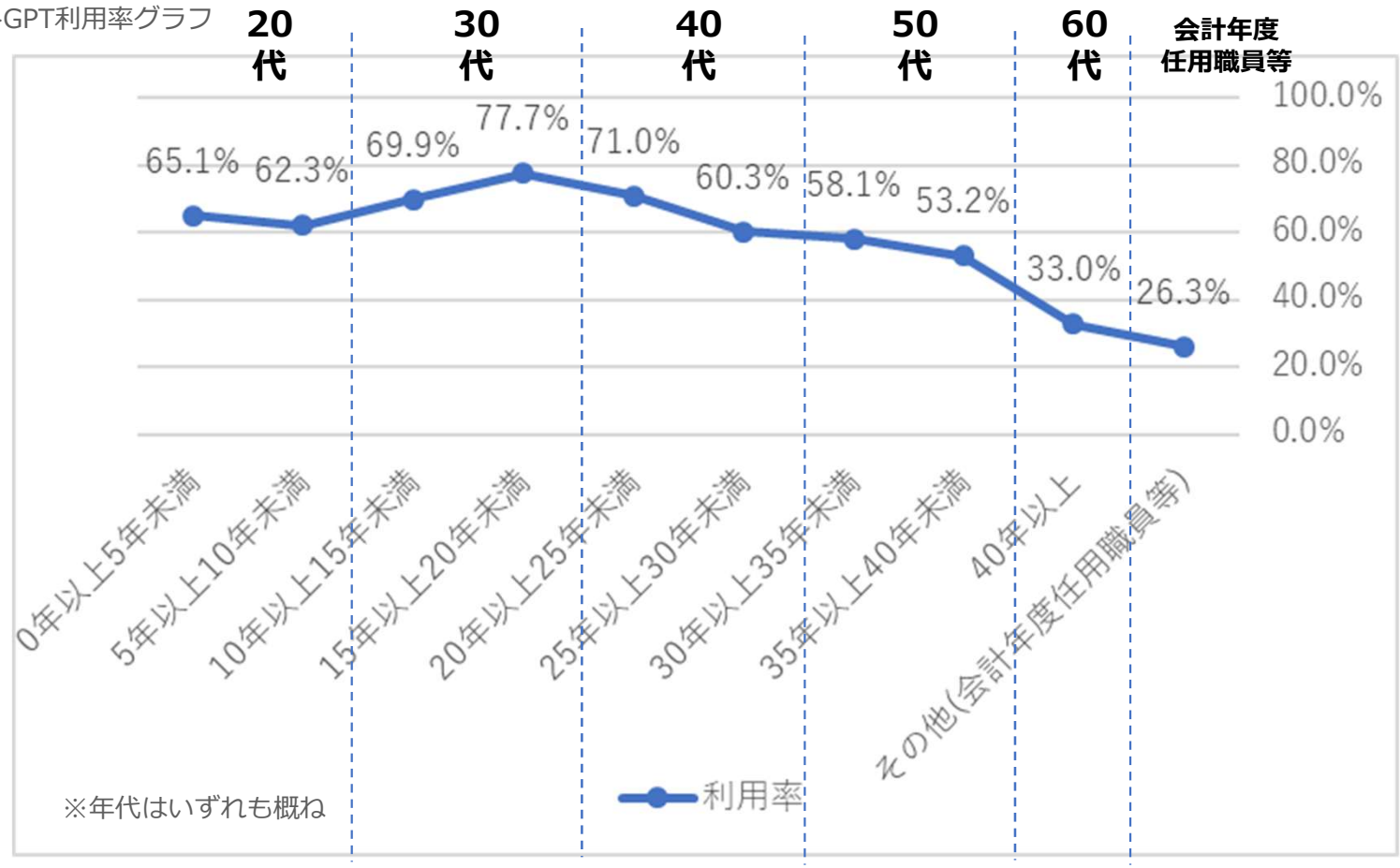
どのくらいの人数が使っているのか



利用者の年齢は？

さほど年齢関係なく、満遍なく利用

チャットGPT利用率グラフ

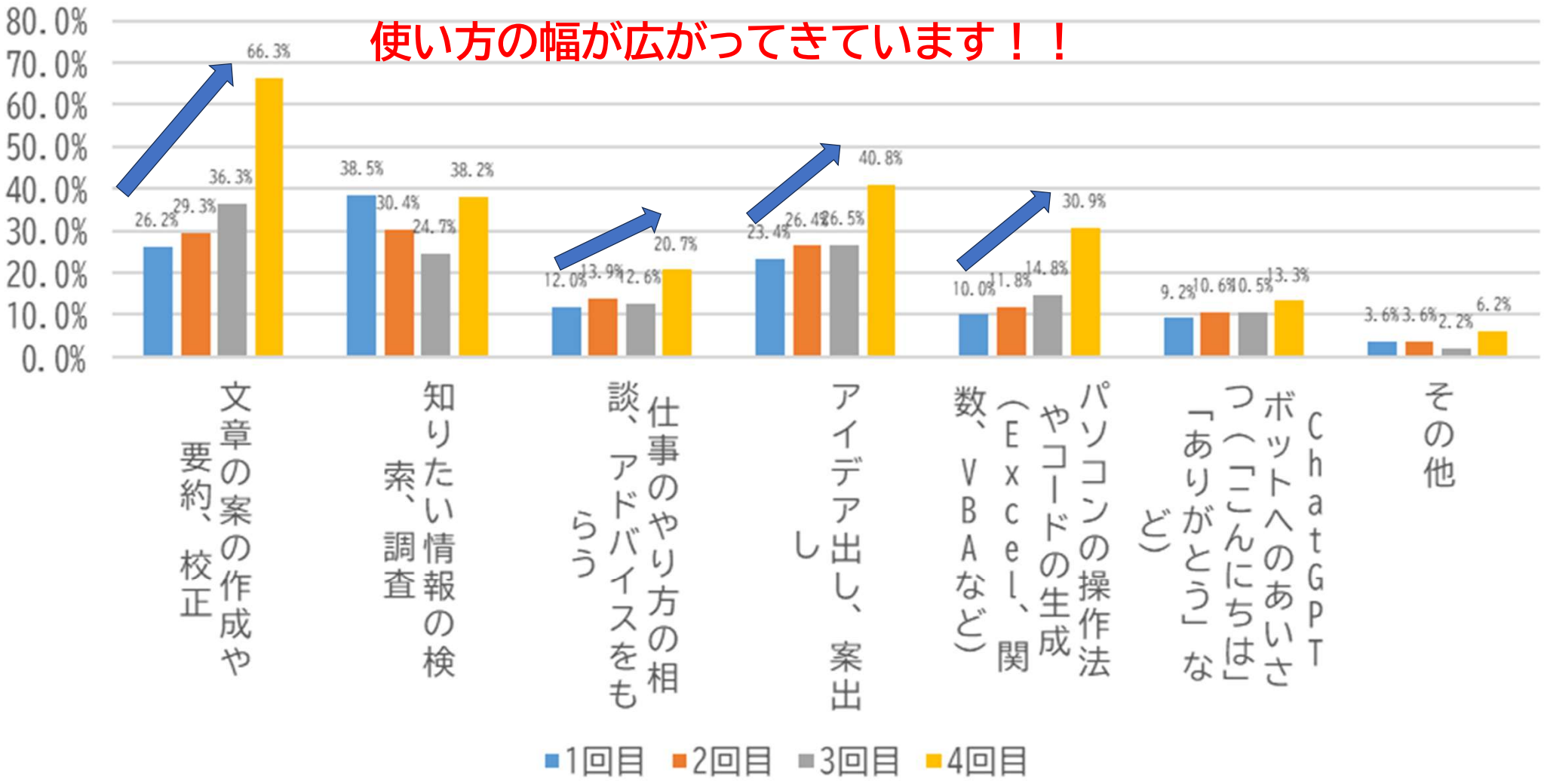


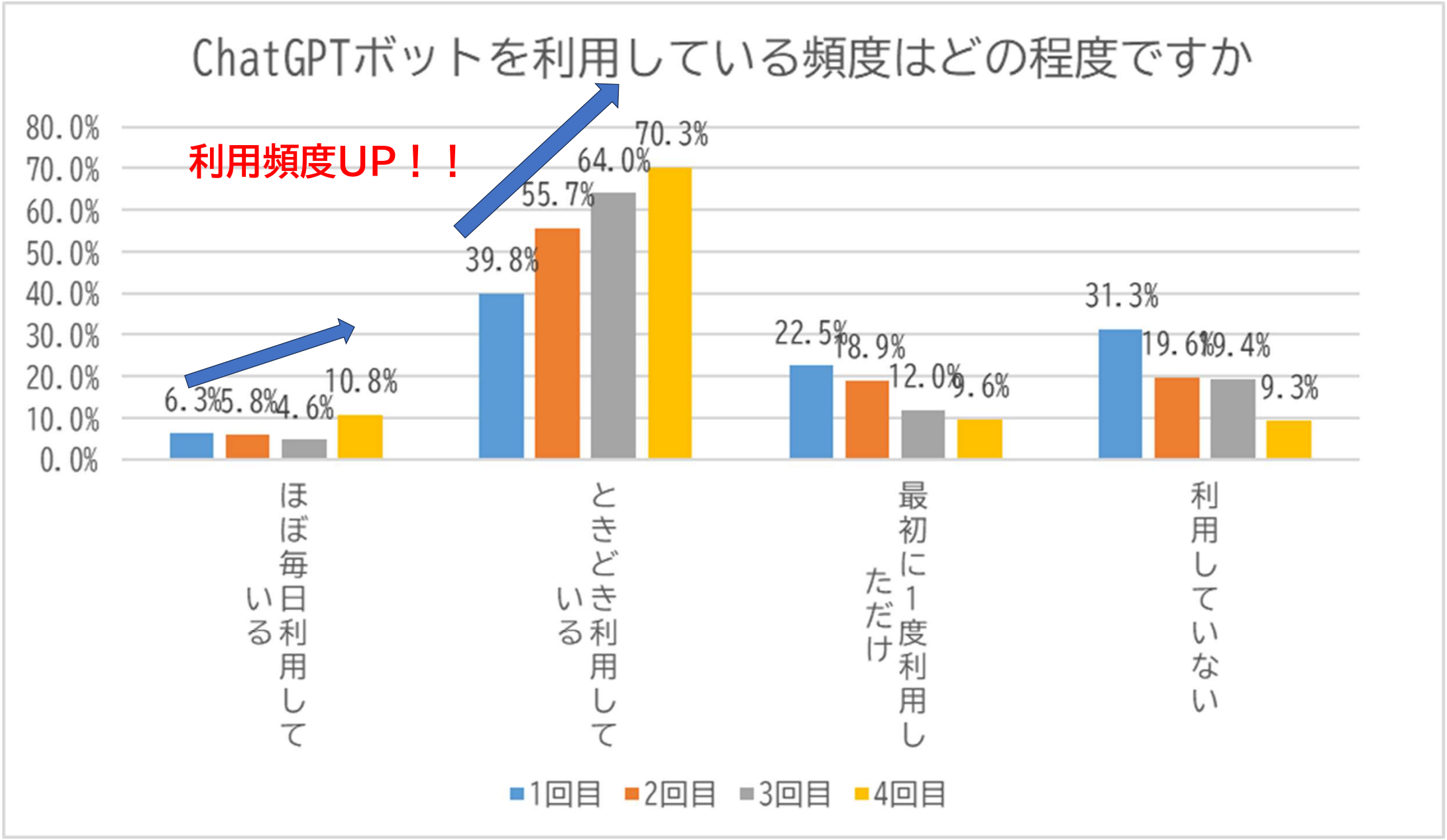
より詳細な利用の実態は？

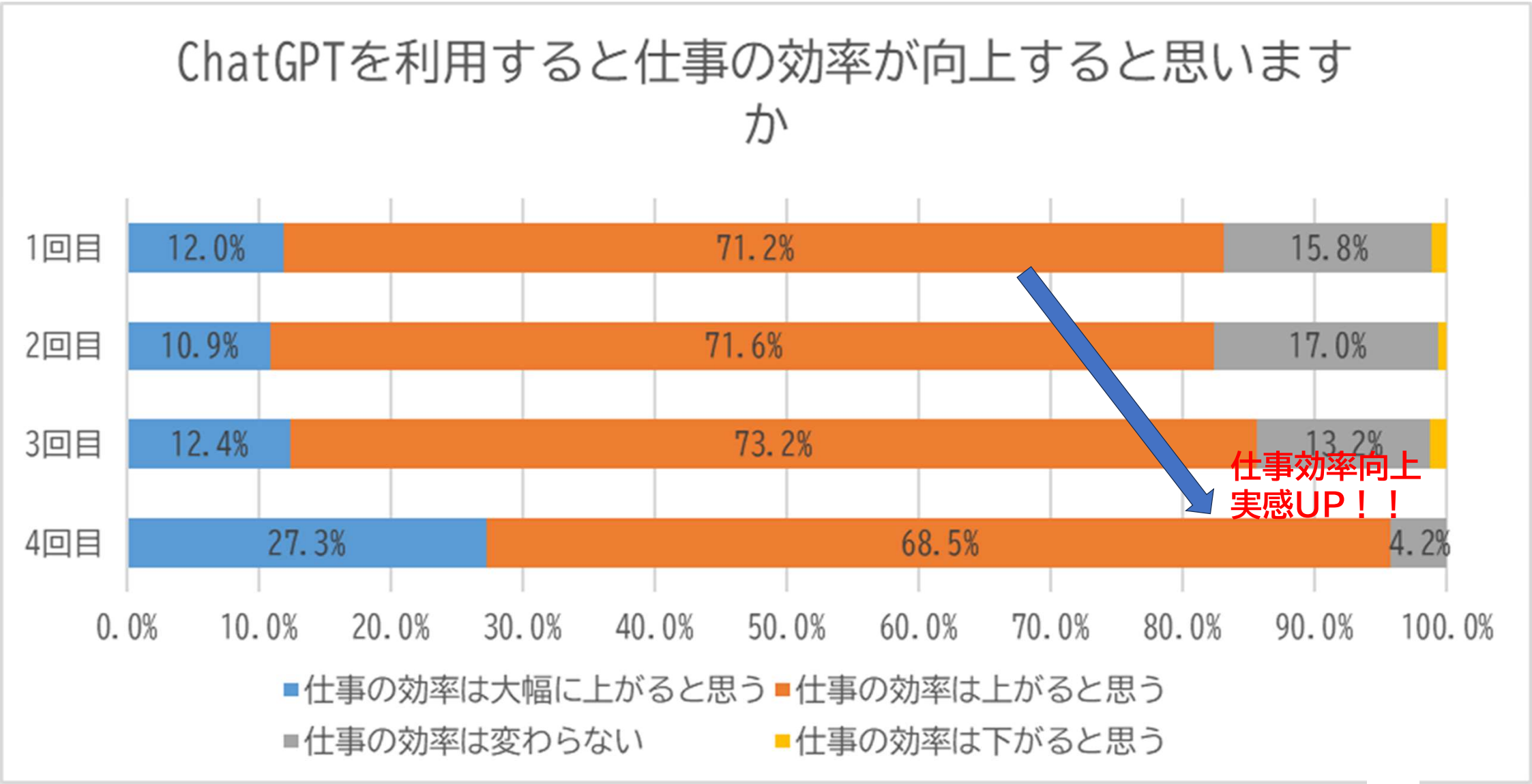
利用状況アンケートを実施しています

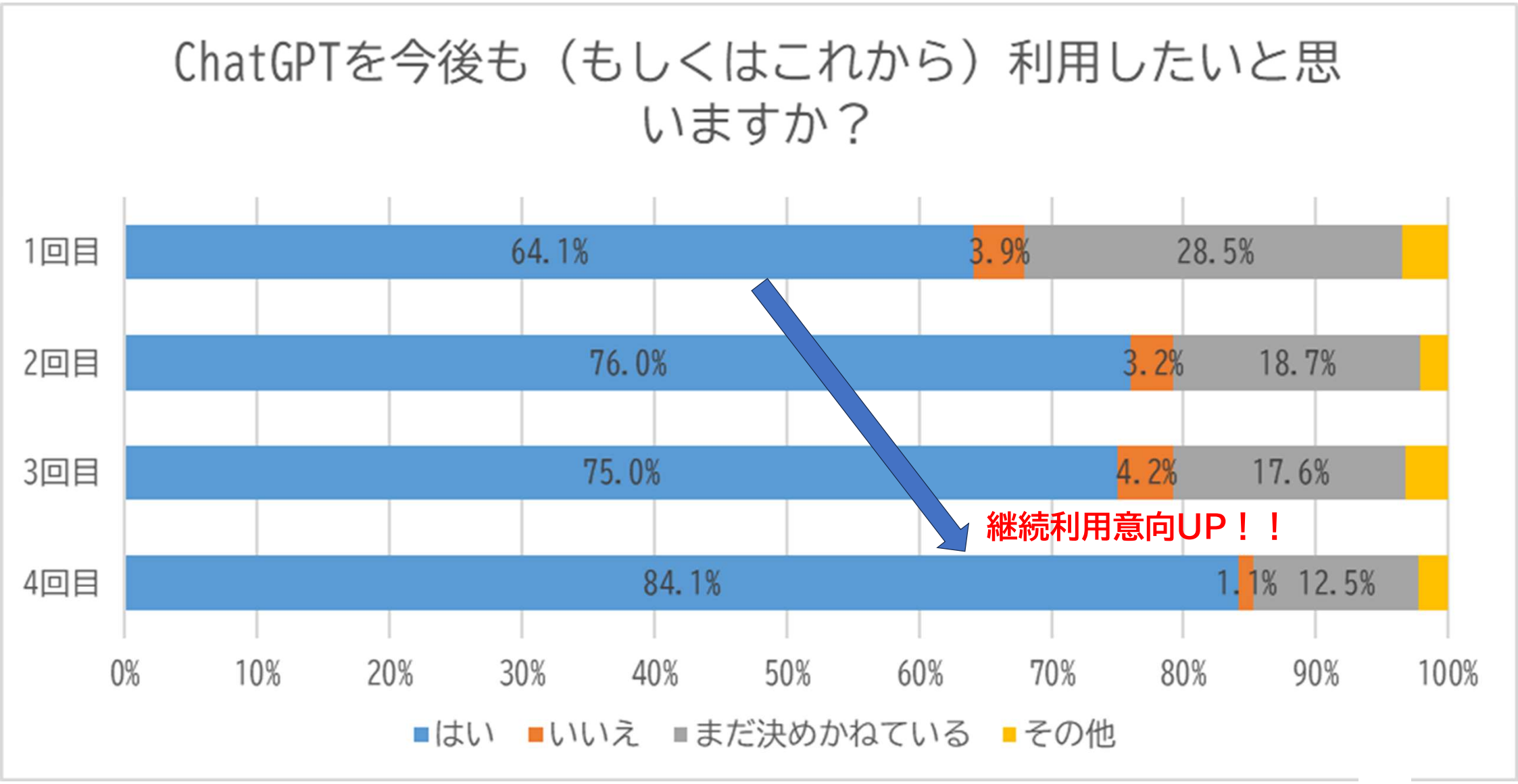
- 令和5年4月20日(木) ChatGPT活用実証開始
- 同年　　4月27日(木)～5月2日(火)　第一回アンケート
- 同年　　5月23日(火)～5月29日(火)　第二回アンケート
- 同年　　9月4日(月)～9月14日(木)　第三回アンケート
- 令和7年3月17日(月)～3月31日(月)　第四回アンケート

ChatGPTボットを利用して行ったことは何ですか




ChatGPTボットを利用している頻度はどの程度ですか
利用頻度UP！！
80.0%
70.0%
60.0%
50.0%
40.0%
30.0%
20.0%
10.0%
0.0%
6.3%
5.8%
4.6%
10.8%
39.8%
55.7%
64.0%
70.3%
22.5%
18.9%
12.0%
9.6%
31.3%
19.6%
9.4%
9.3%
ほぼ毎日利用している
ときどき利用している
最初に1度利用しただけ
利用していない
1回目
2回目
3回目
4回目


ChatGPTを利用すると仕事の効率が向上すると思いますか
1回目
2回目
3回目
4回目
12.0%
71.2%
15.8%
10.9%
71.6%
17.0%
12.4%
73.2%
13.2%
27.3%
68.5%
4.2%
仕事効率向上
実感UP！！
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%
仕事の効率は大幅に上がると思う
仕事の効率は上がると思う
仕事の効率は変わらない
仕事の効率は下がると思う


ChatGPTを今後も（もしくはこれから）利用したいと思いますか？
1回目
2回目
3回目
4回目
64.1%
3.9%
28.5%
76.0%
3.2%
18.7%
75.0%
4.2%
17.6%
84.1%
1.1%
12.5%
継続利用意向UP！！
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
はい
いいえ
まだ決めかねている
その他

ユーザーの声

- ✓ 文書作成が苦手、法令を解釈するのが苦手。いずれもchatGPTで下案を作ったり、解釈を手伝ってもらいながら業務を進めている。
- ✓ エクセルの関数を作るのが苦手だった。chatGPTに相談しながら、業務の効率化を図ることができた。
- ✓ 地域がら、外国籍の市民も多い。翻訳を求められる場面も多い。その際に非常に役に立っている。
- ✓ ワード、エクセルを使えないレベルだった。しかし、chatGPTに相談しながら、事業の企画立案から、事業実施まで行うことができた。

スキルの弱点を補うための利用が多い

chatGPT Teamの活用事例







・横須賀の三笠公園のリニューアルをしようと思っています。リニューアルコンセプトは、横須賀ならではのカルチャー（音楽、ファッション、アーバンスポーツ、アート、　食文化等）を創造・発信できる空間です。

・そこに至るまでの別添の道路を、上記のコンセプトに合わせて、一体感を持ってデザインして。

・改修方法は問わず、モニュメント設置、壁画アート、路面デザインなど何でも


YOKOSUKA
&
MUSIC ZONE
ART ZONE